

お知らせ

令和4年4月12日
社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
病院長 篠田 淳

中部脳リハビリテーション病院では下記の要領で臨床研究を予定しています。

- 研究題名** てんかん検査の脳磁図解析における、傾斜磁場トポグラフィと等価電流双極子法の比較
- 目的** 脳磁図検査において傾斜磁場トポグラフィ(GMFT)による解析がてんかん精査として有用か検証するため、従来法(等価電流双極子法)と比較する。
- 対象** 2016年4月1日から2022年3月31日に中部療護センターで脳磁図が行われた旧木沢記念病院または中部脳リハビリテーション病院の患者の皆様
- 方法** 過去に当院で実施されたてんかん精査の自発脳磁図をGMFTを用いて再解析し、以前に行われた従来法でのてんかん性放電に関する評価と比較する。同時計測された脳波があればそれとも比較する。
また、脳活動部位表示のため、脳磁図用に撮影された頭部MRIデータを使用する。
- 人権擁護** ヘルシンキ宣言に従い、被験者のプライバシーを尊重し、画像データは連結不可能匿名化の上保存し、被験者が特定できないように特別の配慮を行う。
- 研究代表者** 池亀由香(中部脳リハビリテーション病院・中部療護センター 脳神経外科)

中部脳リハビリテーション病院では患者様より得られた検査データを研究に使用することがある旨、院内に掲示しています。院内に保管してあるこれらの患者データを使用する研究を行う場合には、その都度、具体的な研究の概略を示し改めて研究に関わる患者データ使用に関するお知らせを行うことにしています。本研究(上記)では2016年4月1日から2022年3月31日に中部療護センターで脳磁図が行われた旧木沢記念病院または中部脳リハビリテーション病院の患者の皆様の脳磁図・脳波・頭部MRIデータを使用致します。

この件につきまして疑義がございましたら令和4年6月30日までに下記までお申し出ください。

社会医療法人厚生会 中部脳リハビリテーション病院
事務長 坂下 重吾
TEL:0574-66-5800